

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(10)-イ	地域資源を活用した特産品の振興	施策	①個性的で魅力のある特産品開発支援
			施策の小項目名	○魅力ある新たな製品開発の促進に向けた工芸品原材料の安定確保
主な取組	技術講習等の実施		対応する成果指標	工芸品生産額 (離島)
施策の方向	・ 魅力ある特産品開発については、多様化・高度化する市場ニーズを的確に捉えた新たな製品開発の促進支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の伝統的工芸品に使用される原材料の持続的供給を可能とするため、原材料の供給事業者の技術向上に資する体制の構築と原料の調達可能性の調査を行う。	県,市町村,工芸産地組合等	原材料の安定確保に向けた品質維持及び効率的な活用に関する技術講習等の実施		
		技術講習会の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	工芸原材料供給強化・調査事業			予算事業名	工芸原材料供給強化・調査事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	15,715	2,246	県単等	委託	8,585
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>苧麻・琉球藍の品質安定化に向けた関係事業者間の意見交換や状況を共有するため、「苧麻栽培検討会」及び「藍建て手法検討会」を行った。</p>				<p>泥藍や苧麻糸の事業者間の意見交換、ネットワーク構築に向けた取り組みを行う。</p>		

活動指標名	技術講習会の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	0回	1回	2回	1回	100.0%	順調	工芸原材料の品質安定化に向けた関係事業者間の意見や状況を共有するため、「苧麻栽培検討会」や染織物の染料として使われている琉球藍について「藍建て手法検討会」を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

苧麻及び琉球藍関係事業者に対し、工芸原材料の品質安定化に向けた関係事業者間の意見や状況を共有するため、「苧麻栽培検討会」や染織物の染料として使われている琉球藍について「藍建て手法検討会」の計2回開催したことから、順調と判断した。これにより、事業者間での情報交換による苧麻栽培技術の向上につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
藍、苧麻についてシンポジウム等の意見交換の場の開催を検討する。	工芸原材料の品質安定化に向けた関係事業者間の意見や状況を共有するため、「苧麻栽培検討会」や染織物の染料として使われている琉球藍について「藍建て手法検討会」を計2回開催した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	藍、苧麻の栽培、製造方法等について手法の周知・検証を事業者と連携し引き続き行うとともに、今後は生産事業者当事者間でのネットワークづくりによる実践的な意見交換の場が必要。	② 連携の強化・改善	藍、苧麻について事業者間の意見交換、ネットワーク構築に向けた取り組みを引き続き行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(10)-イ	地域資源を活用した特産品の振興	施策	①個性的で魅力のある特産品開発支援
			施策の小項目名	○工芸産業の担い手確保
主な取組	担い手の育成		対応する成果指標	工芸品生産額(離島)
施策の方向	・工芸品原材料の安定確保に取り組むとともに、工芸産業の担い手確保については、技術研修を通して、高度な技術の継承と新たなニーズに対応できる人材の育成を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
工芸の担い手を確保するため、各産地組合が実施する後継者育成事業等へ補助を行う。	国,県,市町村,工芸産地組合等	担い手の育成に関する研修等の実施		
		後継者育成事業等実施組合数(累計)		
		2組合	2組合(4組合)	2組合(6組合)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		工芸人材育成事業		予算事業名		工芸人材育成事業
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	668	1,239	県単等	補助	1,946
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
後継者育成事業を実施する各産地組合への補助をした。				後継者育成事業等を実施する各産地組合への補助をする。		

活動指標名	後継者育成事業等実施組合数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	2組合	2組合	2組合	2組合	100.0%	順調	県は宮古及び八重山地区の産地組合の申請に基づき、講師謝金に1/4、教材等諸費に1/3の補助金を交付した。産地組合において後継者育成研修を実施し、令和4年度は宮古地区3名、八重山地区3名を育成した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度は宮古地区から3名、八重山地区から3名の修了生を輩出したことから順調であると判断した。今回の事業で各産地の後継者が輩出され、若手従事者が増えることで産地の生産量の増が見込まれる。これらの人材は、研修終了後は産地組合の共同作業場を拠点として、生産活動に従事し、各々の産地組合と協働で新製品開発や需要開拓などを行い、業界活性化・振興のために活躍している。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>・育成した人材が一定水準の収入を得られ、継続的に従事できる環境の整備が求められていることから、一定の技術水準に達するまでは、産地組合が生産環境を提供することや研修及び育成プログラム修了後の雇用形態等を勘案し、他の制度を活用するなど、長期スパンによる指導体制や雇用の確保に向けた支援を継続していく。</p>	<p>・後継者育成事業を終えてから、高度工芸技術者養成事業で研修するなど、継続的に技術研鑽に励む者も多く、また、高度工芸技術者養成事業修了後においても、商品開発力を身につけながら販路開拓を行っており、それぞれの事業をうまく活用しステップアップしている。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>・技術や技法の研修修了後、生産活動を続けていける環境作り(作業場の提供や新商品開発手法の講習会開催など)を継続的に支援することで、自立した産業としての定着を促進する必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	<p>・新しい工芸従事者の確保及び定着に向け、後継者育成事業を引き続き支援するとともに、研修終了後も人材が定着できるよう、収益向上を図るため、需要開拓事業等も支援する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(10)-イ	地域資源を活用した特産品の振興	施策	②特産品の販路拡大・プロモーション支援
			施策の小項目名	○特産品の販路拡大支援
主な取組	稼ぐ県産品支援事業		対応する成果指標	離島フェア売上総額
施策の方向	・戦略的なプロモーション展開、地域ブランド形成の促進、商談会の開催等による国内外の消費者や観光客に選ばれる特産品の販路拡大支援に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県産品の商品力を高め県外への販路拡大を図るため、プロモーションや稼ぐ力向上に向けた専門アドバイザーによる指導、助言等県産品の販路拡大に向けた総合的な支援を行う。	県	県産品の国内市場における需要開拓に向け、戦略的なマーケティング支援やプロモーション展開、補助金支援等の実施		
		申請時に掲げた目標売上を達成した補助事業者の割合		
		2/3	2/3	2/3
担当部課【連絡先】	商工労働部マーケティング戦略推進課 【 098-894-2030 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	稼ぐ県産品支援事業			予算事業名	稼ぐ県産品支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	60,276	45,048	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	64,734
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
プロモーションを8回、セミナーを4回開催した。また、マーケティング支援を33件、補助支援を29件実施した。				プロモーションを5回、セミナーを3回開催する。また、マーケティング支援を10件、補助支援を15件実施した。		

活動指標名	申請時に掲げた目標売上を達成した補助事業者の割合		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		-	-	1/2	2/3	75.0%	概ね順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

プロモーションやマーケティング支援など計画通り実施し、事業者の県外市場での販路拡大に向けた支援を行ったが、新型コロナの影響等により、補助事業者の商談会への参加辞退等のため目標を下回った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
商品開発のみならず、バイヤー招聘、見本市及び補助支援においても、専門アドバイザーによる伴走型支援またはマーケティング及びそれに基づく販路拡大等に関するセミナーを開催するなどして、よりきめ細やかな支援を実施する。 補助支援により得られる県産品に関する情報を収集し、他の県産品関連の事業からも得られる情報を総合的に分析し、県内企業への還元や今後の施策に反映していけるよう情報の整理を図る。	補助事業者に対し、マーケティングや原価計算等に関するセミナーを開催し、よりきめ細やかな支援を実施している。また、ワークショップ型のセミナーも取り入れ、講師や補助事業者同士の交流を図る等、改善に取り組んでいる。 事業者ヒアリングや終了後のアンケート調査等で得られた情報を基に、県内企業への還元や今後の施策に反映していけるよう情報の整理を図っている。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	補助対象事業者に対して実施しているセミナーを、補助事業者以外にも拡充することで、より多くの事業者のマーケティング力向上等に資するよう改善する。	⑧ その他	一部のセミナーを公開型とし、補助事業者以外も参加可能にする。